

## 資料1 ● 参考リスト

### 第1章 痛みの治療を受けるために知っておきたいこと

#### 1. がんの痛みとは

- 1) 世界保健機関(編), 武田文和(訳): がんの痛みからの解放—WHO方式がん疼痛治療法, 第2版, 金原出版, 1996
- 2) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014, P18-28

#### 2. がんの痛みの多くは治療できる

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014
- 2) 世界保健機関(編), 武田文和(訳): がんの痛みからの解放—WHO方式がん疼痛治療法, 第2版, 金原出版, 1996
- 3) 恒藤 暁(著): 最新緩和医療学, 最新医学社, 1999

#### 3. がんの痛みのメカニズム

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014, P18-28

#### 4. 痛み治療や痛みどめに対するよくある誤解・迷信

- 1) American Cancer Society: American Cancer Society's Guide to Pain Control, 2004, P7-21, P43-54
- 2) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014, P89-93, P204-211
- 3) Temel JS, Greer JA, Muzikansky A, et al: Early palliative care for patients with metastatic non-small-cell lung cancer. N Engl J Med 363(8): 733-742, 2010
- 4) 武田文和(著): がんの痛みの鎮痛薬治療マニュアル—すべてのがん患者の痛みからの解放のために, 第2版, 金原出版, 2005, P86-97

### 第2章 あなたの痛みを伝えてください

#### 1. 痛みは本人にしかわからない

- 1) American Cancer Society: American Cancer Society's Guide to Pain Control, 2004
- 2) 日本医師会(監): がん緩和ケアガイドブック 2008年版, 産業科学, 2008
- 3) Twycross Rほか(著), 武田文和(監訳): トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント, 第2版, 医学書院, 2010
- 4) Yamaguchi M, Kumano H, Yamauchi Y, et al: The development of a Japanese version

of the short-form McGill Pain Questionnaire. JSPC 14 : 9-14, 2007

- 5) 圓尾知之, 中江 文, 前田 倫ほか: 痛みの評価尺度・日本語版 Short-Form McGill Pain Questionnaire 2(SF-MPQ-2)の作成とその信頼性と妥当性の検討. PAIN RESERCH 28 : 43-53, 2013

## 2. 痛みを説明するために知っておいてほしいこと

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014, P32

## 3. 痛み治療に役立つメモや日記

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014

## 4. 痛みの伝え方のコツ

- 1) 米国内科学会: HEALTH TiPS ; Opioid Pain Medicines.  
[[http://www.acponline.org/system/files/documents/patients\\_families/products/health\\_tips/opi\\_en.pdf](http://www.acponline.org/system/files/documents/patients_families/products/health_tips/opi_en.pdf)]
- 2) 世界保健機関(編), 武田文和(訳): がんの痛みからの解放とパリアティブ・ケア, 金原出版, 1993

## 第3章 がんの痛みに対する治療のしくみ

### 1. がんの痛みに対する世界共通の治療のしくみ「WHO方式がん疼痛治療法」

- 1) 世界保健機関(編), 武田文和(訳): がんの痛みからの解放—WHO方式がん疼痛治療法, 第2版, 金原出版, 1996
- 2) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014

### 2. 痛みどめの種類や量の決め方

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014

### 3. とん服薬の使い方

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014
- 2) 世界保健機関(編), 武田文和(訳): がんの痛みからの解放—WHO方式がん疼痛治療法, 第2版, 金原出版, 1996

#### 4. がんの痛み治療の目標

- 1) 世界保健機関(編), 武田文和(訳): がんの痛みからの解放—WHO方式がん疼痛治療法, 第2版, 金原出版, 1996
- 2) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014, P37

### 第4章 がんの痛みの治療に使われる痛みどめについて

#### 1. 解熱鎮痛薬——弱い痛みを使う薬

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014
- 2) 厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課: 医療用麻薬適正使用ガイダンス, 2017, P14-16  
[[http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/iryo\\_tekisei\\_guide.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/iryo_tekisei_guide.html)]

#### 2. コデイン、トラマドール——弱い痛みから中くらいの痛みを使う薬

- 1) American Cancer Society: American Cancer Society's Guide to Pain Control, 2004, P82, P190-191
- 2) Twycross Rほか(編), 武田文和ほか(監訳): トワイクロス先生のがん緩和ケア処方薬, 医学書院, 2013, P318-322, P326-329
- 3) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014, P47, P51-53

#### 3. モルヒネ、ヒドロモルフォン、オキシコドン、フェンタニル、タペンタドール、メサドン——中くらいの痛みから強い痛みを使う薬

- 1) 厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課: 医療用麻薬適正使用ガイダンス, 2017, P87-94  
[[http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/iryo\\_tekisei\\_guide.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/iryo_tekisei_guide.html)]

#### 4. 痛みどめのさまざまな製剤(のみ薬、貼付剤、口腔粘膜吸収製剤、坐薬、注射薬)の特徴と使い方

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版, 金原出版, 2014

#### 5. 鎮痛補助薬について

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイ

ドライン 2014 年版, 金原出版, 2014

- 2) Twycross R, 他(著), 武田文和(訳): トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント, 第 2 版, 医学書院, 2010

#### 6. 痛みどめの副作用——その予防と対処

- 1) PEACE プロジェクト: 第 4 回北里大学病院緩和ケア研修会(参加者配布資料), 平成 24 年 5 月 12-13 日
- 2) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014 年版, 金原出版, 2014
- 3) 厚生労働科学研究「痛みに関する教育と情報提供システムの構築に関する研究」: 痛みの教育コンテンツ(ver1.01)

### 第 5 章 痛み治療がうまくいっていないと感じたとき

#### 1. 自分の痛みがうまく伝えられないとき

- 1) City of Hope : Pain and Palliative Care Resource Center  
[<http://prc.coh.org/Pt-familyEd.asp>]

#### 2. 痛みどめの副作用に不安があるとき

- 1) American Cancer Society : American Cancer Society's Guide to Pain Control, 2004
- 2) 大中俊宏ほか(訳): MD アンダーソン サイコソーシャル・オンコロジー, メディカルサイエンスインターナショナル, 2013

#### 3. 痛みどめの使用法に不安があるとき

- 1) 国立がん研究センターがん対策情報センター: がん情報サービス  
[<http://ganjoho.jp>]
- 2) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014 年版, 金原出版, 2014
- 3) がんの痛みネット [<http://www.itaminai.net>]

#### 5. 痛みどめへの抵抗感があるとき

- 1) 日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン委員会(編): がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014 年版, 金原出版, 2014, P216-219

#### 6. 痛みや痛みどめについての相談窓口

- 1) 国立がん研究センターがん対策情報センター: がん情報サービス  
[<http://ganjoho.jp>]
- 2) 日本緩和医療学会: 緩和ケア・患者さん家族に役立つリンク集

[[http://www.jspm.ne.jp/pub\\_link/](http://www.jspm.ne.jp/pub_link/)]

- 3) 日本ホスピス緩和ケア協会：ホスピス緩和ケア Q & A

[[http://www.hpcj.org/uses/q\\_and\\_a.html](http://www.hpcj.org/uses/q_and_a.html)]

- 4) 公益財団法人日本対がん協会：がん相談・サポート

[[http://www.jcancer.jp/consultation\\_and\\_support](http://www.jcancer.jp/consultation_and_support)]

## 第6章 薬以外による痛みの緩和方法

### 1. 薬以外によって痛みをやわらげるさまざまな方法

- 1) Saunders CM, Baines M : Living with Dying : The Management of Terminal Disease, 2nd ed, Oxford University Press, 1989
- 2) Twycross R ほか(著), 武田文和(監訳) : トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント, 医学書院, 2003, P17-18, P25-28
- 3) Patient information : Chronic pain(The basics)  
[<http://www.uptodate.com>]

### 2. 放射線治療とは

- 1) 日本放射線腫瘍学会(編) : 放射線治療計画ガイドライン 2012 年版, 金原出版, 2012, P280-283

### 3. 神経ブロック療法とは

- 1) Swarm RA, Karanikolas M, Cousins MJ : Injections, neural blockade, and implant therapies for pain control. Oxford Textbook of Palliative Medicine(Hanks G, Cherny NI, Christakis NA, et al eds), 4th ed, New York, Oxford University Press, 2010, P734-754
- 2) Chan R, De Leon-Casasola O : Neural blockade for cancer pain. Cancer Pain(Bruera E, Portenoy R eds), 2nd ed, New York, Cambridge University Press, 2010, P315-328
- 3) Mannes A, Kim PS, Lonser RR : Interventional approaches to pain. Principles and practice of Palliative Care and Supportive Oncology, 4th ed, Philadelphia, Lippincott Williams & Wilkins, 2013, P55-65
- 4) Chambers WA : Nerve blocks in palliative care. Br J Anaesth 101 : 95-100, 2008

### 4. 自分でできる痛みへの対処法

- 1) 静岡県立静岡がんセンター : 「学びの広場」シリーズ⑦「がんと上手につきあう方法」
- 2) Sheinfeld Gorin S, Krebs P, Badr H, et al : Meta-analysis of psychosocial interventions to reduce pain in patients with cancer. J Clin Oncol 30(5) : 539-547, 2012

## 資料 2 ● 作成者リストと利益相反

## ● 第 1 版増補版 (2017 年刊行)

## 利益相反開示事項

学会の利益相反に関する指針、細則、報告事項、Q & A については学会ホームページ (<http://www.jspm.ne.jp/rieki>) をご確認ください。

## 役員・委員等の利益相反開示事項(概要)

- |    |                       |             |
|----|-----------------------|-------------|
| 1  | 報告対象企業等の職員、顧問職か       |             |
| 2  | 給与・報酬等                | 100 万円以上    |
| 3  | 特許権使用料                | 100 万円以上    |
| 4  | 講演料等                  | 50 万円以上     |
| 5  | 原稿料等                  | 50 万円以上     |
| 6  | 顧問料                   | 100 万円以上    |
| 7  | 委受託研究費                | 200 万円以上    |
| 8  | 研究助成金(寄付金)            | 100 万円以上    |
| 9  | 奨学(奨励)寄付金             | 100 万円以上    |
| 10 | 寄付講座等                 | 500 万円以上    |
| 11 | 株式等                   |             |
|    | 役員、業務執行者か             |             |
|    | または、利益(配当、売却益の総和)     | 100 万円以上    |
|    | または、当該全株式の 5% 以上      |             |
| 12 | 旅行・贈答品等               | 年間総額 5 万円以上 |
| 13 | 自由診療                  |             |
|    | 保険外診療(自由診療)を行っていたかどうか |             |

## 備考

- 1 報告者自身について報告
- 2～13 報告者自身および、報告者と生計を一にする親族について報告

## 開示期間

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

ガイドライン統括委員会			利益相反
委員長	中島 信久	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻外科病態学講座緩和医療学分野	該当なし
担当委員	沖崎 歩	国立がん研究センター東病院緩和医療科	職員、顧問職：有限会社くすり堂
副委員長・担当委員	細矢 美紀	国立がん研究センター中央病院看護部	給与・報酬等〔親族〕：スミスメディカル・ジャパン株式会社
	余宮きのみ	埼玉県立がんセンター緩和ケア科	講演料等：大鵬薬品工業株式会社

がんの痛み治療ガイド増補作成 WPG			利益相反
WPG 員長	沖崎 歩	国立がん研究センター東病院緩和医療科	職員、顧問職：有限会社くすり堂
WPG 員	細矢 美紀	国立がん研究センター中央病院看護部	給与・報酬等〔親族〕：スミスメディカル・ジャパン株式会社
	余宮きのみ	埼玉県立がんセンター緩和ケア科	講演料等：大鵬薬品工業株式会社
WPG 員 (評価委員)	天野 慎介	一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン	該当なし
	井関 雅子	順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座	講演料等：ファイザー株式会社 原稿料等：塩野義製薬株式会社
	加賀谷 肇	明治薬科大学臨床薬剤学研究室	該当なし
	勝俣 範之	日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科	該当なし

(五十音順)

## ●第1版(2014年刊行)

## 利益相反開示事項

学会の利益相反に関する指針、細則、報告事項、Q & Aについては学会ホームページ(<http://www.jspm.ne.jp/rieki>)をご確認ください。

## 役員・委員等の利益相反開示事項(概要)

- 1 報告対象企業等の職員、顧問職か
- 2 給与・報酬等 100万円以上
- 3 講演料・原稿料・報酬等 50万円以上
- 4 受託研究費(治験)等 200万円以上
- 5 研究助成金(寄付金)等 200万円以上
- 6 株式等持ち分 10%以上
- 7 専門的証言・助言等 100万円以上
- 8 株式・出資金等持ち分 1,000万円以上

## 開示期間

2012年4月1日～2013年3月31日

緩和医療ガイドライン委員会			利益相反
委員長	太田恵一朗	聖路加国際病院消化器センター/消化器・一般外科	該当なし
担当委員	的場 元弘	青森県立中央病院緩和医療科	該当なし

患者・家族のためのがん疼痛治療ガイドライン作成 WPG			利益相反
WPG 員長	的場 元弘	青森県立中央病院緩和医療科	該当なし
WPG 副員長	佐藤 哲観	弘前大学医学部附属病院麻酔科/緩和ケア診療室	該当なし
	高橋美賀子	聖路加国際病院オンコロジーセンター	該当なし
	立松三千子	愛知県がんセンター中央病院薬剤部	該当なし
WPG 員	石川 憲行	国立病院機構相模原病院薬剤科	該当なし
	市川 欧子	東京臨海病院消化器内科	該当なし
	伊藤 香織	東京都立多摩総合医療センター薬剤科	該当なし



	伊東 俊雅	東京女子医科大学病院薬剤部/がんセンター緩和ケア室	該当なし
	大中 俊宏	国立病院機構東京医療センター緩和ケア内科	該当なし
	沖崎 歩	国立がん研究センター東病院臨床開発センター精神腫瘍学開発分野	該当なし
	奥山慎一郎	山形大学医学部附属病院疼痛緩和医療部/緩和ケアチーム	該当なし
	金井 良晃	東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部	該当なし
	川島 正裕	市立岸和田市民病院緩和ケア内科	該当なし
	金 英植	三菱神戸病院外科	該当なし
	小杉 寿文	佐賀県医療センター好生館緩和ケア科	該当なし
	坂下 美彦	千葉県がんセンター緩和医療科	該当なし
	關本 翌子	国立がん研究センター東病院看護部	該当なし
	田口 賀子	大阪府立病院機構大阪府立成人病センター緩和ケアセンター	該当なし
	永倉 久泰	KKR 札幌医療センター放射線科	該当なし
	中村 直樹	聖路加国際病院放射線腫瘍科	該当なし
	藤田 和子	京都第一赤十字病院緩和ケア内科/麻酔科	該当なし
	松岡 順治	岡山大学大学院保健学研究科、岡山大学病院緩和支援医療科	該当なし
	松原 貴子	市立伊勢総合病院麻酔科	該当なし
	和田千穂子	国立がん研究センター中央病院看護部	該当なし
評価委員	天野 慎介	一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン	該当なし
	井関 雅子	順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座	講演料、原稿料、報酬等： 久光製薬株式会社、ファイザー株式会社
	加賀谷 肇	明治薬科大学臨床薬剤学教室	該当なし
	勝俣 範之	日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科	該当なし
	細矢 美紀	国立がん研究センター がん対策情報センターがん医療支援研究部教育研修室	該当なし

(五十音順)